

# 端末型接続サービス メールサーバ切替に伴う メールクライアント設定変更手順

#### 三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社

2017年



© 2017 MITSUBISHI ELECTRIC INFORMATION NETWORK CORPORATION



#### メールクライアントの設定、お客様にて実施

12月13日(水)出社後、お客様にて以下のご対応をお願い致します。

(1)ご使用しているメールソフトにて、「サーバにメールを残す」からチェックを

外し、端末型メールサーバよりメールサーバ切替前のメールを全て受信します。 ※以前のメールを受信する場合がございます。

(2)ご利用中のメールソフトにて、メール受信(POP)、送信(SMTP)

を新規メールサーバ用のFQDN(mail.ドメイン名)に切り替えます。

旧メール受信(POP)、送信(SMTP)サーバ:

post0.mind.ne.jp 又は、mail.mind.ne.jp

新メール受信(POP)、送信(SMTP)サーバ:

mail.post0.mind.ne.jp 又は、mail.mail.mind.ne.jp

※切り替えるFQDNはメールアドレスのドメイン(@以降)をご確認ください。

ドメインが、post0.mind.ne.jp、mail.mind.ne.jp以外は切替対象外となります。
※「mail.mail.mind.ne.jp」はドメインが「mail.mind.ne.jp」となりますので、
記載間違いではございません。





#### メールクライアントの設定、お客様にて実施

(3)ご利用中のメールソフトにて、アカウント名、パスワードのご確認 アカウント名とパスワードをご確認ください。 アカウント(=メールアドレス)は@以降も記載が必要となります。 パスワードが不明な場合は担当営業へご確認ください。

(4)サーバのポート確認

送信、受信のポート番号が以下である事を確認、設定します。

送信メール(SMTP):587

受信メール(POP):110

※送信メール(SMTP):にて、標準では"25"が設定されています。





メールクライアントの設定、お客様にて実施

(5)SMTP認証の確認

切替後、お使いのメールクライアントにてSMTP認証が必要となります。 ご利用頂いているメールクライアントにて、「SMTP認証をする」設定に なっている事をご確認頂き、設定が入っていない場合は、以下の情報にて 設定ください。

アカウント名:メールアドレス(@以降も記載が必要となります。)

パスワード:不明な場合は担当営業へご確認ください

接続の保護:なし

認証:平文のパスワード認証

※アカウント名、パスワードに関しましては、(3)で設定する内容と同様となります。

(6)新メールサーバより、メールを送受信します。





メールクライアントの設定、お客様にて実施

補足

※FQDN=ホスト名+ドメイン名を省略せずに記載したものとなります。

例:mail.example.co.jp

mail=ホスト名、example.co.jp=ドメイン名

FQDNはPOP、SMTP共用となります。

※メールクライアントの設定変更はメールサーバ切替日より、1週間の切替期間を 予定しております。

※新規メールはFQDN、アカウント、パスワードを切替後受信可能となります。

※5ページよりThunderbird及び、Outlookでのメールクライアント設定例を ご案内致します。

※2018年1月に端末型接続サービスで使用していた旧サーバは撤去となります。





(1)Thunderbirdサーバにファイルを残さない設定
 ①メニューバー→ツール(T)→アカウント設定(S)→サーバ設定を選択し、以下画面を表示
 ②ダウンロード後もサーバにメッセージを残す(G)のチェックを外す
 ③OKを押す

④メールを送受信する

*****@****.co.jp     サーバ設定     サーバ設定     サーバの種類: POP メールサーバ     境底とアドレス入力     送感メール     ディスグ領域     開封確認     セキュリティ     モーカルフォルダ     透惑メール     ディスク領域     世生、リティ     ビローカルフォルダ     透感メール     ディスク領域     送信 (SMTP) サーバ     ビーズ 設定     ジェック     ジェッシ     ジェック     ジ	アカウント設定	×
メッセージの保存先:	<ul> <li>アカウント設定         <ul> <li>****@****.co.jp</li> <li>サーバ設定</li> <li>送信控えと特別なフォルダ</li> <li>編集とアドレス入力</li> <li>迷惑メール</li> <li>ディスク領域</li> <li>開封確認</li> <li>セキュリティ</li> <li>ローカルフォルダ</li> <li>迷惑メール</li> <li>ディスク領域</li> <li>送感メール</li> </ul> </li> </ul>	
アカウント操作(A)     ・     ・       3     OK     キャンセル	アカウント操作( <u>A</u> )・	メッセージの保存先: 参照(B) 3 OK キャンセル





(2)Thunderbird受信(POP)サーバ設定箇所

- ①メニューバー→ツール(<u>T</u>)→アカウント設定(<u>S</u>)→サーバ設定を選択し、以下画面を表示
- ②赤枠に「post0.mind.ne.jp又は、mail.mind.ne.jp」が設定されている場合「mail.post0.mind.ne.jp又は、 mail.mail.mind.ne.jp」を設定

③赤枠のポート番号が「110」である事を確認する。ポート番号が異なる場合は「110」を設定

6





(3)Thunderbirdアカウント設定箇所

①ユーザ名(M):にメールアドレスが記載されている事を確認する。

メールアドレスは@以降も記載する

②接続の保護(U):に「なし」を設定

③認証方式(I):に「平文のパスワード認証(安全でない)」を設定

④OKを押す

アカウント設定	
<ul> <li>         ▲ ****@****.co.jp     </li> <li>         サーバ設定</li> <li>         送信控えと特別なフォルダ 編集とアドレス入力 迷惑メール ディスク領域         間封確認 セキュリティ ローカルフォルダ 迷惑メール ディスク領域 送信 (SMTP) サーバ      </li> </ul>	サーバ設定         サーバの種類: POP メールサーバ         サーバ名(S):         ユーザ名(N):         ①         セキュリティ設定         接続の保護(U):         なし         ②         認証方式(1):         平文のパスワード認証(安全でない)         ③         サーバ設定         ②         「新着メッセージがないか起動時に確認する(C)         ③         サポージがないか(Y)         一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、「、「、」、、、、、、、、、、、、、、
アカウント操作( <u>A</u> )・	<ul> <li>○ 終了時にごみ箱を空にする(X)</li> <li>ジッセージの保存先:</li> <li>参照(B)</li> <li>④</li> <li>○K</li> <li>キャンセル</li> </ul>





- (4)Thunderbird送信(SMTP)サーバ設定箇所
- ① $メニュ-バ-\rightarrow$ ツール(<u>T</u>) $\rightarrow$ アカウント設定(<u>S</u>) $\rightarrow$ 送信(SMTP)サーバ
  - →現在利用中のサーバ(既定)→編集を選択し、以下画面を表示
- ②「post0.mind.ne.jp又は、mail.mind.ne.jp」が設定されている場合、「mail.post0.mind.ne.jp又は、 mail.mail.mind.ne.jp」を設定

③赤枠のポート番号が「587」である事を確認する。ポート番号が異なる場合は「587」を設定

アカウント設定		23
<ul> <li>         ▲ ****@****.co.jp サーバ設定 送信控えと特別なフォルダ 編集とアドレス入力 迷惑メール ディスク領域 開封確認 セキュリティ      </li> <li>             ローカルフォルダ             迷惑メール ディスク領域         </li> <li>             ゼローカルフォルダ             送惑メール ディスク領域         </li> <li>             送信 (SMTP) サーバ         </li> </ul>	送信 (SMTP) サーバの設定         複数の差出人情報を管理している場合、使用する送信 (SMTP) サーバをこのリストから選択できます。[現定の サーバを使用する] を選択すると、このリストの既定のサーバを使用します。         ジレーバを使用する] を選択すると、このリストの既定のサーバを使用します。         逆症 (SMTP) サーバ         設定         説明(D):         ②         サーバ名(S):         ポート番号(P):         587         既定値::         ジロティと認証         接続の保護(N):         なし         認証方式(1):         平文のパスワード認証(安全でない)         ローザ名(M):         OK	
アカウント操作( <u>A</u> )・	ОК <b>+</b> ヤンセル	96





(5)Thunderbird SMTP認証の確認箇所

①接続の保護(N):に「なし」を設定

②認証方式(I):に「平文のパスワード認証(安全でない)」を設定

③ユーザ名(M):にメールアドレスが記載されている事を確認する

メールアドレスは@以降も記載する

④OKを押す

⑤OKを押す

アカウント設定	×
▲ ****@****co.jp	送信 (SMTP) サーバの設定
5 一八設定 送信控えと特別なフォルダ 編集とアドレス入力	複数の差出人情報を管理している場合、使用する送信 (SMTP) サーバをこのリストから選択できます。[既定の サーバを使用する] を選択すると、このリストの既定のサーバを使用します。
迷惑メール ディスク領域	送信 (SMTP) サーバ     返     追加(D)
開封確認 セキュリティ ▲ローカルフォルダ 迷惑メール	設定     編集(E)…       説明(D):     削除(M)       サーバ名(S):     既定値に設定(I)
ディスク領域 送信 (SMTP) サーバ	· セキュリティと認証 接続の保護( <u>N</u> ): なし
	認証方式(I): 平文のパスワード認証(安全でない) ▼ 2 ユーザ名(M): 3
アカウント操作( <u>A</u> )・	





(6)Thunderbirdパスワード入力

①受信を押し、パスワード入力画面をを表示

②パスワードを入力する(パスワードが不明な場合は担当営業へご確認ください)

③OKを押す

④メールを受信をする



パスワードを入力してください				
? ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
2				
□ パスワードマネージャにこのパスワードを保存する。				
3 OK キャンセル				





#### (7) Outlookサーバにファイルを残さない設定

①メニューバー→ファイル→情報→アカウント設定→既定のアカウント→変更(A)を選択し、以下左下画面を表示

②赤枠の詳細設定(M)...を押す。詳細設定タブを押し、以下右画面を表示

③サーバーにメッセージのコピーを置く(L)のチェックを外す

④OKを押す

⑤次へ(N)>を押し設定を完了させる

⑥メールを送受信する

アカウントの変更	×	インターネット電子メール設定
POP と IMAP のアカウント設定 お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。		全般         送信サーバー         詳細設定           サーバーのポート番号
ユーザー情報 名前(Y): 電子メール アドレス(E): サーバー情報 アカウントの種類(A): POP3 ▼ 受信メール サーバー(I): 送信メール サーバー (SMTP)(O): メール サーバーへのログオン情報	アカウント設定のテスト アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧め します。 アカウント設定のテスト(T) ☑ [次へ]をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)	受信サーバー (POP3)(I): 110 標準設定(D) このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E) 送信サーバー (SMTP)(O): 587 使用する暗号化接続の種類(C): なし ▼ サーバーのタイムアウト(T) 短い ▼ 長い 1 分 配信 ■ サーバーに×ッセージのコピーを置く(L) ③ 日後
アカウント名(U): パスワード(P): 「パスワードを保存する(R) 「メール サーパーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応し ている場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)	2 詳細設定(M) 5 ( 戻る(B) 次へ(N) ) キャンセル	<ul> <li>□ [削除済みアイテム] から削除されたら、サーバーから削除(M)</li> <li>④</li> <li>○K</li> </ul>



- (8) Outlookサーバ設定箇所
- ①メニューバー→ファイル→情報→アカウント設定→既定のアカウント→変更(A)を選択し、以下画面を表示 ②アカウントの種類(A):に「POP3」が設定されていることを確認する。「IMAP」が設定されている場合は、

P.16、P.17を参照し新規アカウントを作成を行い、新規アカウント作成後に③へ進む。

③赤枠に「post0.mind.ne.jp又は、mail.mind.ne.jp」が設定されている場合、受信メールサーバ(I):に

「mail.post0.mind.ne.jp又は、mail.mail.mind.ne.jp」を設定

④赤枠に「post0.mind.ne.jp又は、mail.mind.ne.jp」が設定されている場合、送信メールサーバ(SMTP)(O):に 「mail.post0.mind.ne.jp又は、mail.mail.mind.ne.jp」を設定

	h
ユーザー情報 名前(Y): 電子メール アドレス(E): サーバー情報 アカウントの種類(A): POP3 ♀ 2 受信メール サーバー(I): 送信メール サーバー (SMTP)(O): 3 4	<ul> <li>アカウント設定のテスト</li> <li>アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。</li> <li>アカウント設定のテスト(T)</li> <li>              「次へ]をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする             (S)      </li> </ul>
パスワード(P):	詳細設定(M)





(9) Outlookアカウント名、パスワード設定、ポート確認箇所

①赤枠のアカウント名(U):に、メールアドレスが記載されている事を確認する。メールアドレスは@以降も記載する

②赤枠のパスワード(P):に、パスワードを入力する(パスワードが不明な場合は担当営業へご確認ください)

③赤枠の詳細設定(M)...を押す。詳細設定タブを押し、以下右画面を表示

④赤枠の受信サーバー(POP3)(I):ポート番号が「110」である事を確認する。ポート番号が異なる場合は「110」を設定 ⑤赤枠の送信サーバー(SMTP)(O):ポート番号が「587」である事を確認する。ポート番号が異なる場合は「587」を設定 ⑥使用する暗号化接続の種類(C):に「なし」を設定

アカウントの変更	<b>x</b>	インターネット電子メール設定
POP と IMAP のアカウント設定 お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。	***	全般         送信サーバー         詳細設定           サーバーのポート番号         4
ユーザー情報         名前(Y):         電子メールアドレス(E):         サーバー情報         アカウントの種類(A):         POP3         受信メールサーバー(I):         送信メールサーバー(SMTP)(O):         メールサーバーへのログオン情報         アカウント名(U):         パスワード(P):	<ul> <li>アカウント設定のテスト</li> <li>アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。</li> <li>アカウント設定のテスト(T)</li> <li>              [次へ]をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする             (S)      </li> </ul>	受信サーバー (POP3)(I):       110       標準設定(D)         このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要(E)       送信サーバー(SMTP)(O):       587         送信サーバー (SMTP)(O):       587       ⑤         使用する暗号化接続の種類(C):       なし       ▼         サーバーのタイムアウト(T)       なし       ▼         短い       マ       長い       1 分         配信       サーバーに×ッセージのコピーを置く(L)       ●       日後         [削除済みアイテム] から削除されたち、サーバーから削除(M)       100       100
<ul> <li>✓ パスワートを保存する(R)</li> <li>メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ポックスをオンにしてください(Q)     </li> </ul>	3 詳細設定(M) 〈 戻る(B) 次へ(N) 〉 キャンセル	





- (10) Outlook SMTP認証の確認箇所
  - ①赤枠の送信サーバタブをクリックし、以下の画面を表示させる
  - ②赤枠の送信サーバ(SMTP)は認証が必要(O)にチェックを入れる
- ③赤枠の次のアカウントとパスワードでログオンする(L)にチェックを入れ、以下内容にて設定する

アカウント名(N):にメールアドレスが記載されている事を確認する。メールアドレスは@以降も記載する パスワード(P):パスワードを入力する(パスワードが不明な場合は担当営業へご確認ください)

④OKを押す

		1	1	インターネット電子メール設定	×	
	全組	没 送信サー	-バー 🚦	羊細設定		
2		送信サーバー	(SMTP)	は認証が必要(0)		
		○受信メール	, サーバ-	-と同じ設定を使用する(U)		
	3	② 次のアカウ:	ントとパス	、ワードでログオンする(L)		
		アカウント	名(N):			
		パスワード	(P):	*****		
				✓パスワードを保存する(R)		
		□ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)				
	○ メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンする(I)					
				OK ‡1	ャンセル	





(11) Outlookメール送受信テスト

①[次へ]をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)にチェックを入れる

②次へ(N)を押す

③テストアカウント設定完了後、閉じる(C)を押す

④完了を押す

※P.16、P.17にてアカウントを新規作成した場合は、以下の方法で旧アカウントを削除してください。

メニューバー→ファイル→情報→アカウント設定→旧アカウントを選択→削除(M)

アカウントの変更	×	テスト アカウント設定
POP と IMAP のアカウント設定 お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。	×.	すべてのテストが完了しました。[閉じる]をクリックして続行してください。     中止(S)       ③      閉じる(C)
ユーザー情報 名前(Y): 電子メール アドレス(E):	<b>アカウント設定のテスト</b> アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧め します。	タスク     エラー       タスク     状況       ダ気ク     大況       ダ気ク     テスト       ダ気信メール サーバー (POP3) へのログオン     売了       グラスト電子メール メッセージの送信     売了
サーバー情報 アカウントの種類(A): POP3 ▼ 受信メール サーバー(I): 送信メール サーバー (SMTP)(O): メール サーバー (SMTP)(O): メール サーバーへのログオン情報 アカウント名(U): パスワード(P):	アカウント設定のテスト(T)  「次へ]をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)	アカウントの変更 すべて売了しました アカウントのセットアップに必要な情報がすべて入力されました。
	詳細設定(M) 2 く戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	





(12) Outlook新規アカウント作成

アカウントの種類(A):に「IMAP」が設定されている場合は、既存アカウントでの種別変更不可となる為、 以下の通りアカウントの新規作成を行う。

①メニューバー→ファイル→情報→アカウント設定→新規(N)…を選択し、以下左下画面を表示

②電子メール アカウント(E)を選択する

③次へ(N)>を押し以下右画面を表示

④自分で電子メールやその他のサービスを使う為の設定をする(手動設定)(M)を選択する ⑤次へ(N)>を押しP.17へ

アカウントの追加	アカウントの追加
サービスの選択	自動アカウント セットアップ アカウントを手動で設定するか、または他の種類のサーバーに接続します。
② ③ 電子メール アカウント(E) インターネット サービス プロバイダー (ISP) または組織から提供されている電子メール アカウントに 接続します。	○ 電子メール アカウント(A)
◎ その他(O) 以下に表示されている種類のサーバーに接続します。	名前(Y):
Fax Mail Transport	例: Eiji Yasuda
	電子メール アトレス(E): 例: elji@contoso.com
	パスワートの9番記人力(T): インターネット サービス プロバイダーから提供されたパスワードを入力してください。
	4
	◎ 自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする (手動設定)(M)
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	(N) > キャンセル





(12) Outlook新規アカウント作成
⑥POP または IMAP(P)を選択する
⑦次へ(N)>を押し以下右画面を表示
⑧アカウントの種類(A):にて、POP3を選択する
⑨P.11へ戻り残りの設定を進める
※旧アカウントは新アカウント設定完了後削除となります。P.15に掲載

アカウントの追加	アカウントの追加	×
サービスの選択	POP と IMAP のアカウント設定 お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。	×
<ul> <li>Microsoft Exchange Server または互換性のあるサービス(M) Exchange アカウントに接続して、電子メール、予定表、連絡先、タスク、ボイス メールにアクセスします</li> <li>Outlook.com または Exchange ActiveSync と互換性のあるサービス(A)</li> <li>Outlook.com などのサービスに接続し、電子メール、予定表、連絡先、タスクにアクセスします</li> <li>POP または IMAP(P) POP または IMAP 電子メール アカウントに接続します</li> <li>その他(O) 以下の一覧に示されている種類のサーバーに接続します</li> </ul> Fax Mail Transport	ユーザー椿耜       アカウント設定のテスト         名前(Y):       アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認するこします。         電子メール アドレス(E):       アカウントを受用して、入力内容が正しいかどうかを確認するこします。         アカウントの種類(A):       アウクント設定のテスト(T)         受信メール サーバー(1):       (二人、人) をクリックしたらアカウント設定を自動的にテスト(S)         送信メール サーバー (SMTP)(O):       (二人、人) をクリックしたらアカウント設定を自動的にテスト(S)         ガウント名(U):       (二人、人) をクリックしたらアカウント設定を自動的にテスト(S)         アカウント名(U):       (二人、人) をのりックしたらアカウント設定を自動的にテスト(S)         アカウント名(U):       (二人、人) をのりックしたらアカウント設定を自動的にテスト(S)         アカウント名(U):       (二人、人) をのりックしたらアカウント設定を自動的にテスト(S)         アカウント名(U):       (二人、人) をのの配信先:         (パスワードを保存する(R)       (回) パスワードを保存する(R)         (二人、サーサ・バー・グゼキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ポッウスをオンにしてください(Q)       (単相認)	<u>ことをお勧め</u> する 芝定(M)
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	( <u>∠ 戻る(B)</u> 次へ(N) > [ =	キャンセル